

令和 5 年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立松ヶ丘小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立松ヶ丘小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校1年生～2年生において、生活科の35時間分（1年生は34時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する 必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成 23 年 4 月

平成 30 年 4 月 変更

平成 31 年 4 月 変更

令和 2 年 4 月 変更

令和 6 年 4 月 継続

(5) 取組の期間

令和 8 年 3 月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

① 計画通り実施できている

- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	77.6
楽しい	18.4
あまり楽しくない	2
楽しくない	2

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	77.6
楽しい	20.4
あまり楽しくない	2
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	75.6
話せるようになりたい	22.4
あまり話せるようになりたくない	2
話せるようになりたくない	0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	59.2
知りたい	34.7
あまり知りたくない	2
知りたくない	4.1

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	64
楽しい	32.6
あまり楽しくない	3.4
楽しくない	0

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	55.8
楽しい	43
あまり楽しくない	1.2
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	54.7
話せるようになりたい	37.2
あまり話せるようになりたくない	4.7
話せるようになりたくない	3.4

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	55.8
知りたい	32.6
あまり知りたくない	8.1
知りたくない	3.5

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	87.1
よい	12.3
あまりよくない	0.3
よくない	0.3

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	31.2
楽しみにしている	49.2
あまり楽しみにしていない	16.6
楽しみにしていない	3

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	16.6
増えていると思う	62.4
あまり増えていると思わない	19
思わない	2

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	29.2
(英語を) 聞く力	36.6
(英語を) 話す力	31.5
(英語を) 読む力	9.5
(英語を) 書く力	5.4
分からない	29.5

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・英会話が難しい、苦手と感じている子への対応。
- ・同世代を含むネイティブスピーカーとの対話機会の充実。
- ・高学年の授業水準を高くし、学んだ内容を身に付け役立てるような指導。
- ・個々のレベルに合わせた対応ができるような少人数指導。
- ・知識量よりも、楽しいと感じられるような活動の充実。
- ・他教科との連携。
- ・積極性や議論する力、多様性を尊重する態度の育成。
- ・英検受験者への指導。

(4) 学校関係者(教職員)による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	83.3
よい	16.7
あまりよくない	0
よくない	0

② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	16.7
楽しみにしている	66.6
あまり楽しみにしていない	16.7
楽しみにしていない	0

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	50
増えていると思う	50
あまり増えていると思わない	0
思わない	0

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	40
(英語を) 聞く力	40
(英語を) 話す力	10
(英語を) 読む力	10
分からない	0

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

- ・ネイティブスピーカーとの交流機会の充実。
- ・教科担任制の早期推進。

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

- ・低学年では、ジェスチャーやゲームなど動きを取り入れながら繰り返し英語に親しむことで、異言語を学ぶ活動に積極的になり、自ら学ぶ意欲の向上につながっている。
- ・英検 Support Program ESG では、団体平均総合点が、前年度と比べて 26 ポイント上がっている。リーディング、リスニングもそれぞれ 10 ポイント以上上がっている。これは、高学年児童が低学年から外国語に慣れ親しみ、物怖じせず学習に取り組んできたことや、市独自のオンライン英会話の取組も功を奏しているためだと考える。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

- ・低学年児童の多くは、昼休みなど英語活動の授業外で ALT とすれ違うと、「一緒に遊ぼう。」と声を掛けたり、ALT の出身の国を思い浮かべ、その国での有名な食べ物や、挨拶の言葉を話そうとしたりしている様子が見られる。外国の生活に興味をもち、言語や文化の差異を受け入れ、関わり合おうという気持ちの素地が育っている。
- ・第 5 学年では学区内の他の小学校（高野小学校）と連携し、動画による交流を行ったことで、情報発信の手段としての英語という認識をもち、英語による情報発信をより広げたいという思いを耕すことができた。

(3) 今後の課題

- ・中学年になると、課題に対する興味関心の個人差が出てくる。外国語を好きにさせるためには、子ども達の実態に応じて教材を工夫し、意欲を高める授業展開のさらなる工夫が必要である。

5 授業の様子



オンライン英会話の様子(高学年)



動作を介して楽しく学ぶ様子(低学年)